

## 参考資料- 1 3

### 用語の定義

# 1 用語の定義

## ・表面保護工

コンクリートの劣化や鋼材の腐食の原因となる劣化因子の侵入を阻止・制御することを主目的として、コンクリート構造物表面に施された保護的措置、または保護的措置を施す工事。

広義には、二次的劣化因子の侵入を阻止・制御する効果をもたらす工法によるものを含め、広い意味での表面保護の効果をもたらす各種の表面保護措置、またはそれらの工法を意味するが、本マニュアルでは、劣化因子に侵入を防止・制御することを主目的とするものに限定した、狭義の意味で用いる。

## ・表面保護工法

表面保護工の施工のために適用される具体的な方法。

本マニュアルでは、劣化因子の侵入を防止・制御することを主目的として、コンクリート構造物の表面、表面近傍断面あるいは補修を要する欠損断面に適用される工事の具体的な方法を意味する。

## ・表面保護システム

下地処理、素地調整、プライマー処理、中塗り、上塗り、含浸材塗布、断面補修などの工法ならびにそれらの程度、使用材料、施工条件など、表面保護工の性能や機能に影響を及ぼす個々の条件を組み合わせた仕様。

## ・表面処理工法

表面保護工法のうち、コンクリート構造物の表面または断面修復を終えたコンクリート構造物の表面に保護措置を施す工法。表面被覆工法と表面含浸工法に大別される。

## ・表面被覆工法

劣化因子の侵入やコンクリートの剥落を抑制または防止するが効果を有する被覆をコンクリート構造物の表面に形成させる工法。有機系または無機系の被覆材が用いられる。

## ・表面含浸工法

所定の効果を発揮する材料をコンクリートの表面から含浸させ、コンクリート表面部の組織を改質して、コンクリート表面部への特殊機能の付与を実現させるための工法。

## ・有機系被覆材

表面被覆工法において被覆を形成させるために用いる材料のうち、有機系樹脂を主成分とするもの。有機系被覆材による被覆には、ひび割れ追従性、耐候性、美観付与など性能または機能が要求されることが多い。

**・無機系被覆材**

表面被覆工法において被覆を形成させるために用いる材料のうち、無機系の材料を主成分とするもの、あるいは、これとメッシュの組合せを被覆の構成材料としたもの。

この後者の組合せ使用におけるメッシュは、劣化コンクリートの剥落防止を目的として併用される。

また、被覆の主材としては、ポリマーセメント系材料とその他の無機質系材料がある。

**・表面含浸材**

表面含浸工法において、コンクリートの表面から内部に含浸させる材料、コンクリートに対する含浸性に加え、コンクリート表面部を改質して、その部分に撥水性やアルカリ性を付与したり、その他の特殊な機能を付与したりする性能が要求される。一般には、シラン系あるいは珪酸塩系の表面含浸材が用いられている。

**・塗布工法**

液状または固化していない状態にある被覆材をスプレー、はけ、ローラー、こてなどにより、コンクリート面に塗布し、被覆を形成させる工法。

塗布工法と呼称されることもある。

**・シート工法**

表面被覆工法のうち、特に被覆に構成要素の1つとしてシートを配置する工法。シート工法には、塗布接着シート工法と貼付接着シート工法がある。

前者はコンクリート表面に接着剤を塗布し、その上に繊維シートを貼り付けて現地で被覆をFRP状にさせる工法で、後者は工場で製造したラミネートシートをコンクリート面に接着剤で貼り付ける工法である。

**・前処理**

劣化部の除去、ひび割れ注入、断面の修復、鉄筋の防錆処理などの、下地処理を行う以前に実施する作業または工法。

**・下地処理**

素地調整を施す前の段階において行う。コンクリート表面の局所的な脆弱部の除去、パテによる空隙の充填、段差や不陸の解消などの物理的な処理。表面保護工を施すコンクリート表面の整形が主たる目的である。

**・劣化部**

中性化、塩害、アルカリ骨材反応などによる劣化または損傷により、ひび割れ、剥離・剥落、脆弱化などが生じているコンクリート部分、ならびに、物理的には健全であるが、中性化の進展、塩化物イオンの蓄積などが許容範囲を超えているコンクリート部分。

・断面修復

コンクリートの劣化、鋼材の腐食、その他の原因によって欠損したコンクリート断面または許容限度以上の劣化因子を含むコンクリート部分を除去したあとの断面を、その当初の性能および形状寸法に戻すこと。

・パテ

くぼみ、割れ、空隙、穴などを充填するために用いるペースト状または粘土状の材料。

・プライマー

素地調整を終えた面と表面保護工との接着性の改善、表面保護工の性能改善などを目的として、素地調整を終えた面に塗布される材料。接着性の改善などの効果を得る目的として、この材料を塗布する行為をプライマー処理という。

・中塗り

表面被覆工の構成要素のうち、劣化因子の侵入抑制などの主たる機能を発揮する部分（主材とも呼称する）、またはこの部分を塗布すること。

・上塗り

表面被覆工の構成要素のうち、中塗り（主材）の耐候性の向上、仕上げ面の着色、光沢の付与などを目的として、仕上げ面に塗布される部分、またはこの部分を塗布すること。